

令和3年度

要 覧

もっと学びたくなる そんな場所があります



学習・体験・交流の広場

福岡県立社会教育総合センター

運営方針と重点目標

1 運営方針

福岡県立社会教育総合センターは、本県社会教育推進の中核施設として、市町村や民間団体等の社会教育を振興する活動と県民の自主的・主体的な学習活動の支援に努めます。

また、学校教育や関係団体等との連携を図りつつ、「ふくおか未来人財育成ビジョン」が掲げる「国際的な視野を持って地域で活躍する」子どもの育成に寄与することを目指します。

2 重点目標

(1) 県民の学習活動支援

- ① 施設の利用促進、施設利用者や社会教育、体験活動に関心のある者のための学習活動支援の充実等、学習の機会・場の拡充に努めます。
- ② 社会教育や家庭教育等に関する調査、データの収集・提供等の充実に努めます。
- ③ ICT等を活用した学習情報の提供や電話等による学習相談の充実、視聴覚教材の利用促進に努めます。

(2) ふくおかの未来を担う子どもの育成

- ① 子どもたちを鍛えてはめてその可能性を伸ばす観点から、実体験を促進する多様な活動プログラムの研究開発と普及に努めます。
- ② 家庭教育に関する学習機会や情報の提供、相談活動の充実、家庭教育支援者の養成、交流の場の提供等に努めます。

(3) 社会教育関係者等の養成

- ① 社会教育関係職員及び民間団体指導者の資質向上を図る基礎的、専門的研修の充実に努めます。
- ② 地方創生や超高齢社会への対応、学校・地域との連携・協働等、現代的課題に関する研修の充実を努めます。
- ③ 県内外の生涯学習・社会教育関係実践事例の収集・提供及び関係者の交流促進に努めます。

目次

運営方針と重点目標 … 1

沿革 …… 2

施設概要

1. 建築概要 …… 3

2. 施設設備 …… 3

3. 利用案内 …… 6

4. 利用料金一覧 …… 7

5. 福岡県視聴覚ライブラリー … 8

組織・機構・職員一覧 … 9

令和3年度事業計画 … 10

令和2年度実績

1. 事業 …… 12

2. 学習相談状況 …… 15

3. 家庭教育相談 …… 16

4. 施設の利用状況 …… 18

野外施設配置図 …… 20



所章

県立社会教育総合センターが、本県の社会教育を総合的に推進する施設として充実発展していくことを願って、木が上へ上へと伸び、大きな繁りとなっていく姿をイメージしています。



沿

革

昭和53年12月4日	県社会教育委員の会議が県教育委員会に対して、社会教育総合センターの早期設置を建議
昭和55年8月8日	建設場所を篠栗町に決定
昭和57年1月11日	造成工事に着工
11月19日	建築工事に着工
昭和58年12月26日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例(昭和58年福岡県条例第24号)公布
昭和59年1月10日	福岡県立社会教育総合センター設立準備室を社会教育課内に設置
〃	研修団体の利用申込みの受付開始
3月1日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家組織規則(昭和59年福岡県教育委員会規則第1号)公布
〃	福岡県立社会教育総合センター等の利用等に関する規則(昭和59年福岡県教育委員会規則第3号)公布
3月15日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例施行規則(昭和59年福岡県教育委員会規則第9号)公布
4月1日	福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例(昭和58年福岡県条例第23号)により、福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家を設置
〃	初代所長に安部徹(県教育庁教育次長兼任)が就任
4月10日	福岡県視聴覚教育協会事務局のセンター内への移転に伴い、福岡県視聴覚ライブラリーを同センターに開設
8月20日	所章(シンボルマーク)決定
9月10日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家落成式
昭和60年3月9日	野外活動施設(野鳥観察小屋、野外劇場、レクリエーション広場、体育庫、避難小屋)完成
5月16日	視聴覚教材の利用等に関する規則(昭和60年福岡県教育委員会規則第7号)公布
昭和61年4月1日	第2代所長に加来宣幸が就任
12月20日	上山窯完成
昭和63年4月1日	第3代所長に山口春禮が就任
平成元年4月1日	第4代所長に濱地甫伯が就任
6月14日	第5代所長に鹿毛勲臣が就任
7月	施設ボランティア「若杉の会」発足
平成4年4月1日	第6代所長に窪田康徳が就任
7月24日	利用者100万人突破
12月24日	キャンプ炊飯場新設
平成5年4月1日	第7代所長に松崎輝生が就任
平成6年4月1日	第8代所長に大神俊明が就任
10月16日	あじさい小屋完成
平成8年4月1日	第9代所長に森本精造が就任
9月1日	施設ボランティア「若杉の会」の名称を学習ボランティア「若杉の会」に変更
平成10年5月	ホームページ「ふくおか生涯学習ネットワーク(現 ふくおか社会教育ネットワーク)」運用開始
7月14日	レストランをバイキング方式に変更するとともにパン工房を設置
平成11年2月12日	炭焼窯完成
3月	学習ボランティア「若杉の会」10年のあゆみ発行
5月8日	学習ボランティア「若杉の会」10周年記念交流会開催
平成12年3月31日	山道等災害復旧工事完了(平成11年6月29日集中豪雨による災害)
4月1日	第10代所長に瓜生浩平が就任
平成13年2月	パソコンルーム設置
4月1日	第11代所長に安野義勝が就任
11月18日	利用者200万人突破
平成14年4月1日	第12代所長に重松孝士が就任
平成15年3月	緊急地域雇用創出特別基金事業により山林整備
11月14日	創立20周年記念行事(式典、体験活動フォーラム、体験活動カーニバル)実施
平成16年3月31日	あじさい炊飯場完成
7月14日	釜山地域平生教育情報センターと交流協定締結
平成17年4月1日	第13代所長に菊川律子が就任
10月1日	ホームページ「ふくおか子育てパーク」運用開始
平成19年4月1日	第14代所長に角伸幸が就任
平成22年3月	緊急雇用創出事業臨時特例基金事業により野外活動エリア整備
3月19日	遊歩道等災害復旧工事完了(平成21年7月24日豪雨による災害)
平成23年4月1日	第15代所長に木原忠が就任
4月19日	利用者300万人突破
10月31日	第16代所長に城戸秀明(県教育庁教育企画部長兼任)が就任
3月9日	釜山地域平生教育情報センターの組織変更に伴い釜山広域市立市民図書館と交流協定締結
平成24年4月1日	第17代所長に今田義雄(県教育庁理事兼任)が就任
平成26年4月1日	第18代所長に中園宏が就任
11月21日	創立30周年記念行事(式典、記念講演)実施
平成27年3月31日	太陽光パネル設置及び照明LED化工事完了
3月	ホームページ「ふくおか社会教育ネットワーク」訪問者数30万件突破
平成28年3月	きずなの森完成
平成29年4月1日	第19代所長に原正彦が就任
平成31年4月1日	第20代所長に日高公徳が就任
令和2年3月2日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休所(令和2年5月18日まで)
4月1日	第21代所長に平川真一が就任 指定管理制度が開始
9月	ふくおか体験活動出前隊の開始

施設概要

1 建築概要

敷地面積	201,750㎡
建築面積	5,838㎡
建物延面積	12,492㎡
建築構造	鉄筋コンクリート造
建築工事期間	起工 昭和57年11月19日 竣工 昭和59年3月31日
総工事費	4,321,457,000円

1階	2,725㎡
2階	4,958㎡
3階	2,434㎡
4階	2,315㎡
P 1階 (塔屋)	60㎡

2 施設設備

① 宿泊施設・設備

階	施設名	面積(㎡)	定員	機能	設備
2～4階	宿泊室	延べ 1,262	500人 (316ベッド)	宿泊	4人用 11室 8人用 34室
	談話室	延べ 241		交流、研修	
3階	浴場	155		大浴場、中浴場、 多目的浴室	
駐車場			80台		第1・第2駐車場



センター全体



ロビー



レストラン「そよかぜ」



宿泊室



講堂



談話室

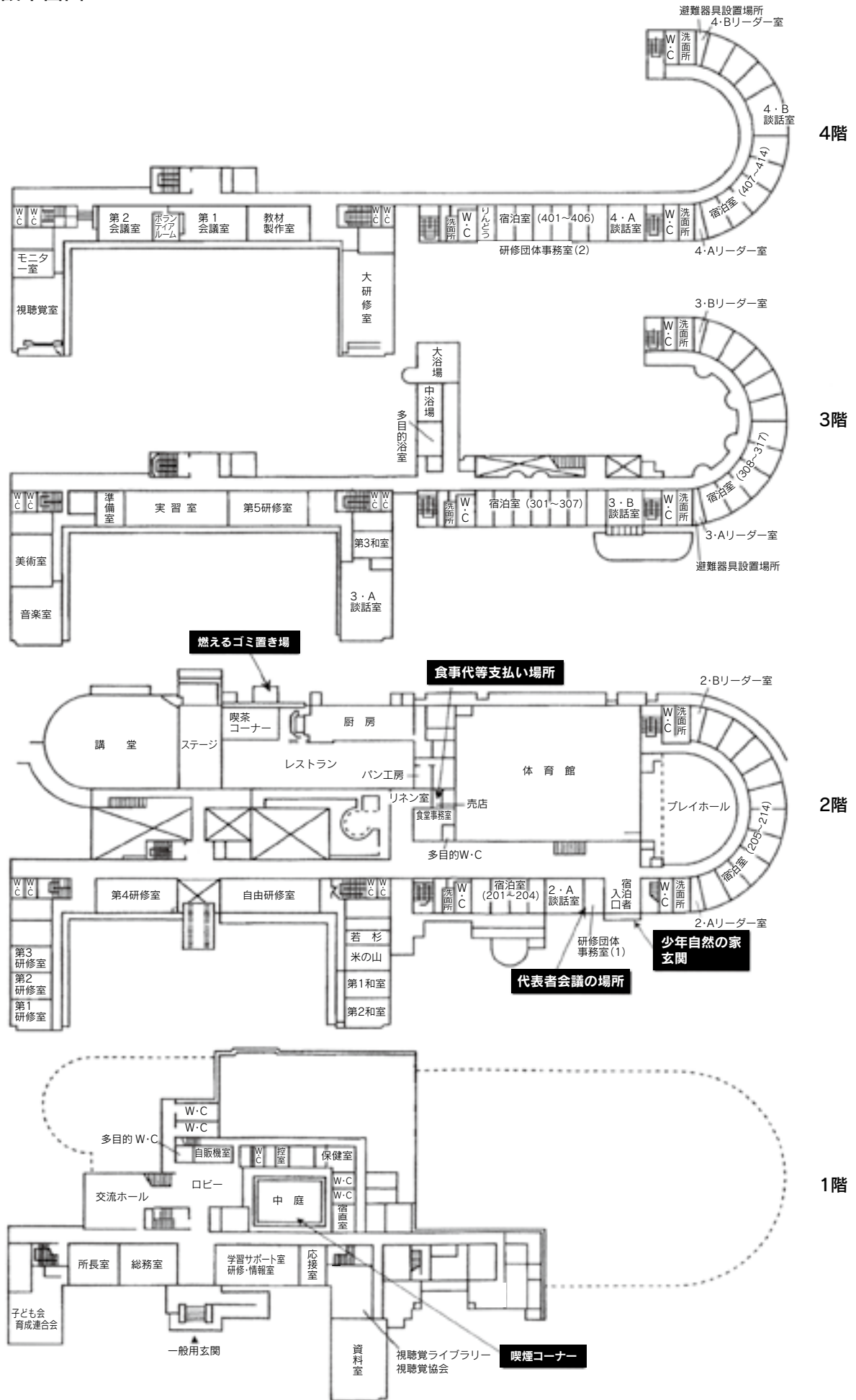


体育館



プレイホール

② 施設平面図



③ 研修施設・設備 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修室等は定員の半数、レストランは155席での御利用をお願いしています。(学校団体を除く：令和3年4月1日現在)

階	室名	定員(人)	機能	設備
1階	資料室	－	社会教育関係の図書・資料の閲覧	書棚、閲覧机
	交流ホール	－	交流・憩いの場・学習作品の展示	テレビ、応接セット、ピアノ、ビデオ
	控室・応接室	－	所の管理用施設	
	所長室・事務室	－	所の管理用施設	
	視聴覚ライブラリー	－	視聴覚教材の貸出し、相談	16ミリ映画、ビデオ教材、DVD
2階	講堂	450	大会・研修会・講演会・映写会 ※防音	16ミリ映写機、スライド映写機、ピアノ、ステージ、ポツチャコート
	レストラン	204		パン工房
	第1研修室	18	講義、研修	黒板、机、椅子、スクリーン
	第2研修室	18		
	第3研修室	30		
	第4研修室	60		
	自由研修室	60		
	和室(第1・第2)	45	研修室(16畳・20畳)	座テーブル、座布団
	体育館	－	バレー2面、バドミントン3面、バスケットボール1面(練習2面)、フリーテニス(3面)	各種ネット
プレイホール	－	軽スポーツ、交流の場、レクリエーション	オルガン	
3階	音楽室	40	ミニコンサート、音楽練習場※防音	黒板、ピアノ、机付椅子
	美術室	40	美術研修(通常研修可)	黒板、机、椅子、流し台
	実習室※	48	陶芸、木工の製作	固定作業台、丸椅子、流し台
	第5研修室※	54	講義、研修	ホワイトボード、机、椅子
	和室(第3)※	12	研修、茶道、華道	座テーブル
4階	視聴覚室	80	視聴覚研修(スロープ式研修室)、講義、研修、※防音、固定式机椅子	スクリーン、固定机、固定椅子
	第1会議室	－	所の管理用施設	
	ボランティアルーム	－	所の管理用施設	
	第2会議室	－	所の管理用施設	
	教材製作室※	40	講義、研修	黒板、机、椅子、スクリーン
野外施設	大研修室	120	講義、研修	ホワイトボード、スクリーン、机、椅子、放送設備、DVD
	グラウンド	－	ソフトボール、サッカー等(※野球不可)	各種スポーツ道具
	野外炊飯場	80	野外炊飯	炊飯用具一式、かまど、調理台
	あじさい炊飯場	130	野外炊飯	炊飯用具一式、かまど、調理台
	野外劇場	60	キャンプファイヤー、レクリエーション、野外音楽	放送設備
	玄関前交流広場	－	交流の場	
	りんどう小屋	－	所の管理用施設(荒天時避難可)	
	たけのこ広場	300	朝・夕べのつどい、キャンプファイヤー	放送施設、全面舗装
	あじさい小屋	－	所の管理用施設	
あじさい広場	100	工作、キャンプファイヤー	テーブル、椅子、テント、電源有	

3 利 用 案 内

当センターは、広く県民の社会教育を推進する教育施設として、学習活動に関する情報の収集及び発信を行う等、生涯学習の機会と場の充実に努めています。

利用内容		申し込み方法等	備考
研	修	<p>学校やグループ、団体等の研修の受入れをしています。適正な研修計画であれば利用できます。また、2人以上であれば、宿泊研修もできます。</p> <p>①宿泊利用の場合 利用開始日の3か月前の月初めから1か月前までに申し込んでください。</p> <p>②1日利用の場合 利用日の1か月前から1週間前までの受付となります。事前に電話でご相談ください。 TEL 092-947-3511 (学習サポート室)</p>	<p>全国(九州)規模の大会や研究集会、県教育委員会主催の研修会等、特に必要があると認めた団体については、前年度から申し込みを受け付ける場合があります。</p>
見	学・視	察	
	学習相談	<p>学習機会や講師情報、事例の紹介等、様々な相談に応じます。(休所日を除く) TEL 092-947-3512 (研修・情報室)</p>	<p>来所及び電話による相談を受け付けています。</p>
相	談	<p>保護者等を対象に家庭教育・子育て全般の相談に応じます。</p> <p>①電話による相談 TEL・FAX：092-947-3515 月曜日～土曜日 9：00～17：00 (ただし、第2月曜日、第4土曜日及び祝日・年末年始を除く) ※17:00～9:00は留守番電話の応答メッセージが流れます。</p> <p>②メールによる相談 HP「ふくおか子育てパーク」において受け付けています。 ふくおか子育てパークURL： http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/</p>	<p>専門の相談員を配置しています。</p>
図	書	資	料
		<p>資料室・ロビーの資料が閲覧・貸出しできます。</p>	
視	聴	覚	材
		<p>利用申込みは、利用の3か月前から受け付けます。電話及びメールでのお申込みの場合は発送いたします。貸出期間は7日以内(8日間以上要相談)、1回の貸出しは5本以内とします。 毎週火・木曜日発送。送料往復無料です。 電話での受付は、月・水・金曜日の9:00～16:30です。(休所日・祝日を除く) TEL 092-947-3514</p>	

○休 所 日

毎月第2月曜日、第4日曜日、年末年始(12月28日～1月4日)

○必要な経費

施設を利用する場合は、福岡県立社会教育総合センターの利用料金に関する条例(昭和58年福岡県条例第24号)に定める利用料金のほかに、食費等が必要です。詳細については次ページを参照ください。

4 利用料金一覧 (令和3年4月1日現在)

施設利用料

	利用時間	9:00	13:00	19:00	9:00	13:00	9:00
		↓ 12:00	↓ 17:00	↓ 21:00	↓ 17:00	↓ 21:00	↓ 21:00
2階	第1研修室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	第2研修室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	第3研修室	1,110円	1,480円	740円	2,960円	2,960円	4,440円
	第4研修室	2,040円	2,720円	1,360円	5,440円	5,440円	8,160円
	自由研修室	2,040円	2,720円	1,360円	5,440円	5,440円	8,160円
	第1和室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	第2和室	750円	1,000円	500円	2,000円	2,000円	3,000円
	講堂	11,130円	14,840円	7,420円	29,680円	29,680円	44,520円
3階	音楽室	2,580円	3,440円	1,720円	6,880円	6,880円	10,320円
	美術室	1,470円	1,960円	980円	3,920円	3,920円	5,880円
4階	大研修室	3,330円	4,440円	2,220円	8,880円	8,880円	13,320円
	視聴覚室	3,690円	4,920円	2,460円	9,840円	9,840円	14,760円
	宿泊室	1人1泊につき 1,230円					

※研修に必要な機材等の要望がありましたら、あらかじめ学習サポート室にお問い合わせください。

※利用者の利用目的によっては利用料金の免除や減額の措置があります。

※物品の販売や入場料の徴収を伴う場合は利用できません。

※政治活動、宗教活動、営利を目的とした活動での利用はできません。

※宿泊者1人1泊につき宿泊税が別途200円課税されます。ただし、利用料金が全額免除される場合には課税されません。

食事料金について (価格はすべて税込み) ※シーツクリーニング 1セット (2枚) 280円

○食堂利用

対象		朝食	昼食	夕食
幼児	一般	250円	350円	400円
	団体割引	220円	330円	380円
小学生	一般	500円	700円	780円
	団体割引	470円	650円	720円
中学生以上	一般	520円	750円	800円
	団体割引	490円	690円	750円

○弁当 (昼食)

対象		価格
幼児	一般	380円
	団体割引	350円
小学生以上	一般	600円
	団体割引	580円

※団体料金について、次の①または②を満たす団体は団体割引が適用されます。

①施設利用料金の全額免除を受けることができる学校・青少年団体。

②全ての食堂利用が30名(食)以上である団体。

※幼児は、4歳～6歳までとします。(4歳未満は無料)

○野外炊飯セット

メニュー	対象	幼児
カレー、焼きそば、豚汁、シチュー、すき焼き	幼児	300円
	小学生以上	600円
焼肉	幼児	400円
	小学生以上	800円

○キャンセルについて

食数のご注文は入所日の10日前(休所日の場合はその前日)の12時までにお願ひします。10日前を過ぎてのキャンセルについては、お食事代の半額をご負担いただきます。(野外炊飯のキャンセルは全額になります。)

5 福岡県視聴覚ライブラリー

視聴覚教材

社会教育総合センター内に県視聴覚ライブラリーを設置し、次のような教材の貸出を行っています。

16ミリフィルム	1,471本
ビデオ	2,505本
DVD	933本
CD-ROM	38本
その他 (CD)	52本
合計	4,999本

領域の内訳

学 校 教 育	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	CD-ROM	その他	社 会 教 育	16ミリフィルム	ビデオ	DVD	CD-ROM	その他	
国 語	137	152	109	0	1	教養・情操	347	750	240	5	9	
社 会	128	394	146	4	0	健康・体力	77	139	44	0	0	
算数・数学	6	4	0	2	0	家庭生活	92	157	53	1	1	
理 科	135	233	42	9	6	家庭教育	161	462	252	2	8	
生 活 科	57	396	161	4	0	地域社会生活	378	520	468	10	16	
音 楽	8	17	0	0	2	人権・同和	274	236	193	0	27	
図工・美術	17	29	3	1	0	国民生活	179	280	259	6	24	
技術・家庭	13	44	40	3	0	国際性	40	99	12	0	0	
保健・体育	61	216	91	1	0	職業生活一般	9	26	14	0	0	
道 徳	532	473	425	1	31	職業の知識・技術	21	203	145	7	0	
特 別 活 動	763	1,975	899	33	31	学習者の特性	53	68	5	3	0	
						学習援助の方法	59	206	43	18	8	
						社会教育施設	18	9	1	0	0	
						一般映画	94	114	16	0	0	
						自 作 ビデオ	県コンクール賞作品	0	75	0	0	1
					社教センター作品		0	13	0	0	0	
						アニメーション作品	261	316	192	3	0	

(令和3年4月1日現在)

※福岡県視聴覚教育協会所有の教材含む。

※所有本数と領域別の合計本数が異なるのは、1本のフィルム又はDVD等が複数の領域で活用ができるためです。

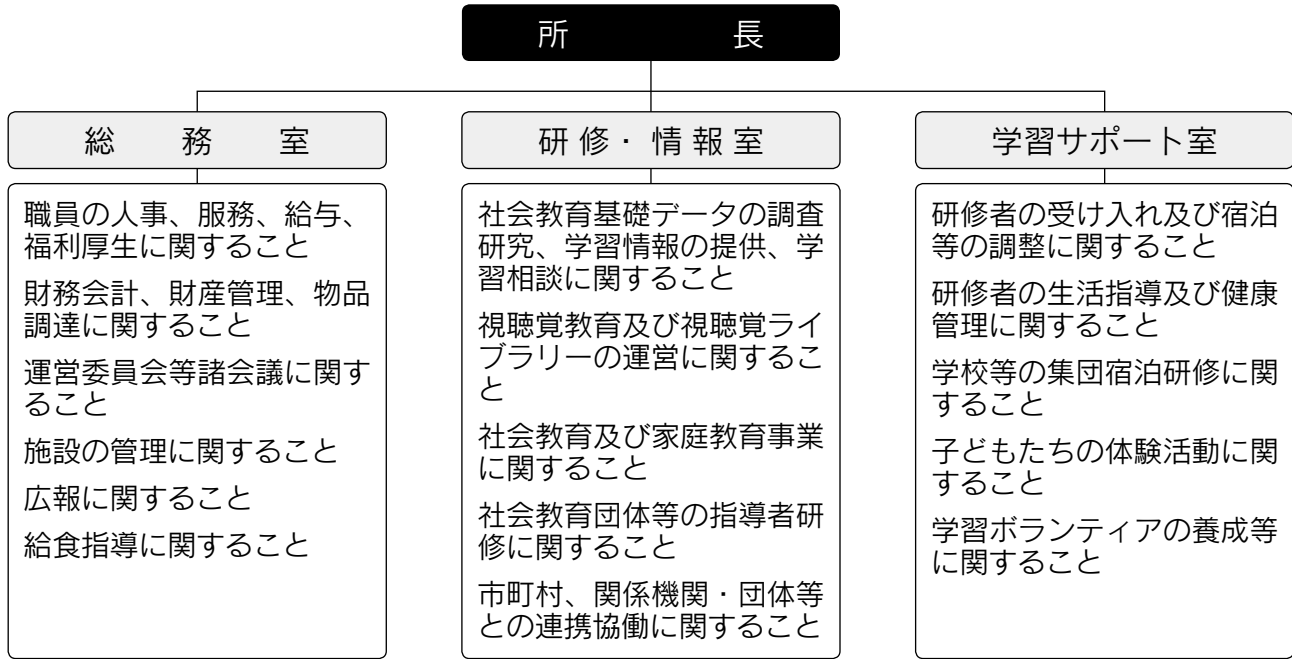
DVD、ビデオ、16ミリフィルム等

送料は、往復無料です

幅広い世代にご利用いただける教材がそろっています。



組織・機構・職員一覧



所長 平川 真一
 参事 松井 和彦

室名	室長	室 員			
総務室	藤木 豊	企画主幹	河野 真功		
		主事	松尾 庸平		
		主事	藤田 雄三		
		社会教育施設指導員	原 あゆみ		
		山林管理員	吉田 豊彦		
研修・情報室	澤田 亮	主任社会教育主事	水落 義行	社会教育施設指導員	永田 弘子
		社会教育主事	上野 修司	社会教育施設指導員	内堀 志穂
		社会教育主事	牛島 健太郎		
		社会教育主事	樋口 早良		
		社会教育主事	庄嶋 勝司		
		社会教育主事	大賀 直		
学習サポート室	松井 和彦	主任社会教育主事	高瀬 博	社会教育施設指導員	山本 湧也
		指導主事	中田 優一	社会教育施設指導員	鈴木 祐真
		社会教育主事	原口 好史	社会教育施設指導員	万波 明日香
		社会教育主事補	白石 達也	社会教育施設指導員	重野 伶奈
		社会教育主事補	森川 文美子	社会教育施設指導員	森川 陽貴

視聴覚教育協会	臨時職員 藤 麻湖
---------	-----------

指定管理者	福岡総合ビル管理事業協同組合
-------	----------------



令和3年度事業計画 ～こんなことをします～

1 県民の学習活動支援

学習情報提供・学習相談

■HPI「ふくおか社会教育ネットワーク」による情報の提供

県内外の社会教育に関する先進事例や講師情報、調査研究等様々な学習情報を提供するとともに、当センター及び県内社会教育施設情報について紹介する。

<実施> 県民、民間団体、学校、行政機関等

学習情報提供・学習相談

■図書資料と社会教育情報の収集・整理・提供

国や県、市町村、民間団体等が発行する社会教育・生涯学習振興に関連する図書資料や地域情報等を収集・整理・提供する。

<実施> 県民、民間団体、学校、行政機関等

学習情報提供・学習相談

■視聴覚教材の収集・貸出

社会教育・生涯学習、学校教育、家庭教育等に関する視聴覚教材の収集と貸出を行う。

<実施> 学校、民間団体、行政機関等

学習情報提供・学習相談

■社会教育・生涯学習に関する学習相談

社会教育や生涯学習に関する講師や学習方法、学習機会についての情報提供、事例の紹介、図書や視聴覚教材の案内、研修プログラムの相談など、学習者や学習企画者の相談に応える。

<実施> 学校、民間団体、行政機関等

調査研究

■地域学校協働活動に関する調査研究

地域学校協働活動に関する調査研究を行い、地域の人材の協力を得た地域学校協働活動を推進し、持続可能な仕組みづくりのための情報を提供する。

<実施> 市町村、学校等

調査研究

■家庭教育に関する調査研究

幼児(3・4・5歳児)を養育する保護者を対象に、家庭教育に関する意識及び行動調査(抽出)を行い、家庭教育支援に資する情報を提供する。

<実施> 幼児(3・4・5歳児)を養育する保護者

学習活動の支援・学習機会の提供

■ふくおか社会教育応援隊

県内の社会教育振興を図るため、市町村や社会教育関係団体、学校等の要望に応じた人材を派遣するとともに、情報・学習機会を提供する。

<実施> 市町村、社会教育関係団体、学校等

学習活動の支援・学習機会の提供

■ゆずフェスティバル

地域に開かれた施設づくりの一環として、当センターの施設や自然を活用した様々な創作活動・体験活動等を地域住民へ提供し、センターの事業等への理解とボランティアの育成を図る。

<実施> 県民、施設での活動に関心のある方

<実施> 11月7日(日)

2 ふくおかの未来を担う子どもの育成

鍛えよう! ほめよう! 体験活動推進プロジェクト

■ふくおかきッズアドベンチャーキャンプ【4回シリーズ】

県内の小学校3、4年生の児童を対象に、県内各青少年教育施設での特色を生かした自然・生活体験と「鍛ほめ福岡メソッド」を位置付けたプログラムを経験させることを通して、自尊感情や向上心、困難に立ち向かう心等を伸ばし、自律的に成長するための基礎を養う。

※夜須高原青少年自然の家、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」と共同開催

<対象> 県内の小学校3、4年生 24名

<実施> ① 9月18日(土)～20日(月) (玄海の家)

② 10月 9日(土)～10日(日) (英彦山)

③ 12月11日(土)～12日(日) (夜須高原)

④ 1月29日(土)～30日(日) (社教センター)

鍛えよう! ほめよう! 体験活動推進プロジェクト

■和き・合い・愛 チャレンジキャンプ

知的障がいのある児童・生徒を対象に、自然体験活動や社会体験活動のプログラムを通して、何事にも主体的に取り組む力や他者とふれあう力を育み、自立心や社会性を身につける力を養う。また、高等部については、卒業後の進路を考えるために、保護者同士の情報交換等を行いながら、子どもの自立に向けた支援の在り方等について考える機会とする。

<対象> 県内の特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍する知的障がいのある児童・生徒

<実施> ① ~~6月5日(土)～6日(日)~~ ⇒ 7月10日(土)～11日(日)

② 9月12日(日)、③ 10月 2日(土)～3日(日)

鍛えよう! ほめよう! 体験活動推進プロジェクト

■はじめてチャレンジ! ドキドキキャンプ【2回シリーズ】

幼少期からの体験活動の重要性を考慮して、様々な体験活動にチャレンジさせ、その過程を褒めることで、思考力や社会性、協調性を育成し、自立心の向上につなげる。

<対象> 県内の年長児15名

<実施> ① 10月31日(日)、② 11月13日(土)～14日(日)

鍛えよう! ほめよう! 体験活動推進プロジェクト

～「体験の風をおこそう」運動推進事業～ ■はじめてのアウトドア! ENJOYファミリークッキング～入門編～

県内の青少年(高校生以下)とその家族を対象に、自然環境の中、家族で調理することを通して、家族の絆を深め、調理する喜びや楽しさを味わう機会を提供することにより、体験活動の普及・啓発を図る。

<対象> 県内の青少年(高校生以下)とその家族10組

<実施> ① 5月 2日(日)、② 7月 4日(日)、③ 12月 5日(日)

鍛えよう! ほめよう! 体験活動推進プロジェクト

～「体験の風をおこそう」運動推進事業～

■ファミリーキャンプ基礎講座【2回シリーズ】

県内の高校生以下の青少年とその家族を対象に、キャンプの基礎的なスキルとマナーを学ぶプログラムを開催する。このプログラムを通して、自然体験の意義や公共のマナー、自然環境の大切さを学びながらキャンプを楽しむ機会とする。

<対象> 県内の青少年(高校生以下)とその家族10組

<実施> ① ~~6月20日(日)~~ ⇒ 7月18日(日)

② 11月20日(土)～21日(日)

鍛えよう! ほめよう! 体験活動推進プロジェクト

■ふくおか体験活動出前隊

県内の県立青少年教育施設及び国立夜須高原青少年自然の家の職員が学校や地域に出向き、自然体験活動の機会が減った児童・生徒及び教職員、地域の方々を対象に体験活動の支援を直接行うことを通して、学校や地域での体験活動の充実及び活性化を図る。併せて、県内青少年教育施設の取り組みを広く地域に発信し、理解を深めるとともに、各施設の利用促進を図る。

<対象> 福岡県内の教育施設、市町村社会教育・生涯学習関係課及び管内の社会教育施設、社会教育関係団体、地域活動、社会貢献活動、ボランティア活動等に関する団体

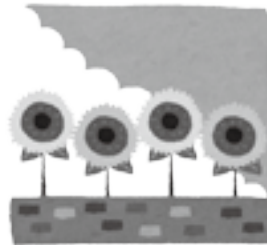
家庭教育支援

■みんなで育もう！ふくおかの子ども育成支援フォーラム

ふくおかの未来を担う子どもの育成を目指し、家庭教育・子育て支援者、学校教育関係者、社会教育関係職員等を対象に、家庭教育・子育て支援についての理解と啓発及び関係者のネットワークづくりを図る。

<対象>家庭教育・子育て支援者に関心のある団体・個人、
家庭教育・子育て支援行政担当者、幼稚園・保育園（所）・
学校関係者、その他

<実施>12月11日（土）



家庭教育支援

■家庭教育相談「親・おや電話」・「メール相談」

保護者等を対象に家庭教育・子育て全般にわたる相談に応じる。

<対象>保護者等

家庭教育支援

■HP「ふくおか子育てパーク」による情報の提供

インターネットを活用した家庭教育・子育て支援情報の収集・提供を行い、家庭教育・子育ての支援を図る。

<対象>家庭教育・子育て支援者・団体、保護者、行政機関等

3 社会教育関係者等の養成

社会教育基礎研修

■社会教育・生涯学習関係職員等基礎研修会

社会教育・生涯学習の振興を図るために、新任者や学び直しの希望者を対象に、必要な基礎知識について学ぶとともに関係職員のネットワークの構築を図る。

<対象>社会教育・生涯学習関係職員等

<実施> ~~6月11日(火)~~ ⇒WEB開催(動画配信)

社会教育基礎研修

■市町村社会教育委員新任者研修会

市町村の社会教育振興を担う社会教育委員の資質向上を図るため、社会教育の課題や社会教育委員の役割等について理解を深める。

<対象>新任の社会教育委員、行政関係職員等

<実施> 7月 7日(水)

社会教育専門研修

■社会教育・生涯学習関係職員等専門研修会

社会教育・生涯学習の振興を図るために、新任者や学び直しの希望者を対象に、関係職員の資質・能力向上のための専門研修を行うとともに関係職員のネットワークの構築を図る。

<対象>社会教育・生涯学習関係職員等

<実施> 9月24日(金)

社会教育専門研修

■16ミリ映写機操作技術講習

16ミリ映写機操作技術を習得する。

<対象>行政関係職員、その他関心のある方

<実施>各団体3名以上の申込時実施

※随時募集

現代的課題対応研修

■公民館事業活性化研修会 兼 人生100年時代での社会教育が果たす役割 ～地域の防災・減災のまちづくり～

現代的課題を解決し持続可能な社会づくりを目指すために、社会教育を基盤とした「人づくり・つながりづくり・地域づくり」が求められており、その役割の中核となる公民館の機能と防災・減災教育を中心とした地域の「防災・減災」について学ぶことで、公民館事業の活性化を図り社会教育の果たすべき役割について考える。

<対象>社会教育・生涯学習行政関係職員等、公民館関係職員、
コミュニティ施設関係職員、防災担当主管職員等

<実施>10月18日(月)

現代的課題対応研修

■地域学校協働活動推進のためのコーディネーター研修

地域学校協働活動を推進するため、地域と学校をつなぐ役割を担う地域学校協働活動推進員の資質・能力向上を図る。

<対象>地域学校協働活動推進員、社会教育関係者、学校関係者
(管理職、地域連携担当教員等)、PTA等

<実施> ~~6月11日(金)~~ ⇒ 9月11日(土)

現代的課題対応研修

■地域と学校の連携・協働推進フォーラム

地域全体で子どもたちの成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動及びコミュニティ・スクールを一体的に推進するため、関係者の理解促進と推進員等の育成を図る。

<対象>地域学校協働活動推進員、社会教育関係者、学校関係者
(管理職、地域連携担当教員等)、PTA等

<実施>11月29日(月)

交流研修

■中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第39回大会

県内外の社会教育、生涯学習関係者の実践の発表・協議等を通して、相互の研鑽と交流を図る。

<対象>社会教育・生涯学習関係者(民間・行政)

<実施> ~~6月15日(土)・16日(日)~~ ⇒令和4年に延期

交流研修

■生涯教育まちづくりフォーラム

県内の「まちづくり」「ひとづくり」に関する実践の事例発表及び研究論文発表をもとに、参加者相互の交流を通して社会教育・生涯学習の振興を図る。

<対象>社会教育・生涯学習に関心のある方

<実施>年3回程度

成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■福岡県社会教育施設学習ボランティア「若杉の会」の支援

「若杉の会」の活動を支援することにより、会員の資質向上と会の充実を図る。

<対象>若杉の会会員



令和2年度実績 ～こんなことをしました～

1 事業

① 県民の学習活動支援

学習情報提供・学習相談

■HP「ふくおか社会教育ネットワーク」による情報の提供

県内外の社会教育に関する先進事例や講師情報、調査等様々な学習情報を提供するとともに、当センター及び県内社会教育施設情報について紹介する。

<対象>県民、民間団体、学校、行政機関等
<実施>515,461件

学習情報提供・学習相談

■図書資料と社会教育情報の収集・整備・提供

国や県、市町村、民間団体等が発行する社会教育・生涯学習振興に関連する図書資料・地域情報等を収集、整理、提供する。

<対象>県民、民間団体、学校、行政機関等
<実施>116件

学習情報提供・学習相談

■視聴覚教材の収集・貸出

社会教育・生涯学習、学校教育、家庭教育等に関する視聴覚教材の収集と貸出を行う。

<対象>学校、民間団体、行政機関等
<実施>747本

学習情報提供・学習相談

■社会教育・生涯学習に係る学習相談の実施

社会教育や生涯学習に関する講師や学習方法、学習機会についての情報提供、事例の紹介、図書や視聴覚教材の案内、研修プログラムの相談など、学習者・学習企画者の相談に応える。

<対象>学校、民間団体、行政機関等
<実施>116件

学習活動の支援・学習機会の提供

■ふくおか社会教育応援隊

県内の社会教育振興を図るため、市町村や社会教育関係団体、学校等の要望に応じた人材派遣、情報提供、学習機会の提供等を行う。

<対象>市町村、社会教育関係団体、学校等
<実施>58件

学習活動の支援・学習機会の提供

■ファミリーカミングデイ！

地域に開かれた施設づくりの一環として、当センターの施設や自然を活用した様々な創作活動・体験活動等を地域住民へ提供し、センターの事業等への理解を深めるとともに、ボランティアの育成を図る。

<対象>県民、施設での活動に関心のある方
<実施>11月 8日(日) 241名



② ふくおかの未来を担う子どもの育成

鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■和き・合い・愛ファミリーキャンプ

知的障がいのある児童・生徒及びその家族を対象に、日常生活で行うことが難しい社会体験プログラムを通して、何事にも主体的に取り組む力を養い、自立心や社会性を育む。

<対象>特別支援学校に在籍する知的障がいのある児童・生徒及びその家族
<実施>10月 4日(日)
9家族(30人)



鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト

■家族でラン♪ラン♪レッツハイキング！

知的障がいのある児童・生徒とその家族の皆さんを対象に、自然体験活動や集団で楽しみながら活動できるプログラムに取り組みさせることを通して、何事にも主体的に取り組む力や他者とふれあう力を育み、自立心や社会性を身につける。

<対象>特別支援学校に在籍する知的障がいのある児童・生徒及びその家族
<実施>8月 2日(日)
7家族(19名)



鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト
 ～「体験の風をおこそう」運動推進事業～
■はじめてチャレンジ！ドキドキキャンプ【2回シリーズ】

幼少期からの体験活動の重要性にかんがみ、様々な体験活動にチャレンジさせ、その過程を褒めることで、自己肯定感や規範意識、コミュニケーション力を高めるとともに、基本的な生活習慣の定着を図る。



<対象>篠栗町内の小学校へ来年度入学予定の年長児
 <実施>①10月18日(日)16名、
 ②11月28日(日)17名



鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト
■ささぐり探検隊【2回シリーズ】

福岡県内の小学校4・5・6年生の児童を対象に、様々な体験活動を通して、主体的に取り組む力を身につけさせるとともに、作る楽しさや完成させる達成感を味わわせることで、自尊感情や学ぶ意欲の向上を目指す。

<対象>県内の小学4～6年生
 <実施>① 1月31日(日)9名 ② 2月 7日(日)9名



鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト
■家族でチャレンジ！ミニ門松づくり

小学生とその家族を対象に、自然の材料を使って季節の行事にちなんだものを作る活動を通して、家族で日本の風習に親しみ、物作りの喜びを味わう機会を提供することにより、体験活動の普及、啓発を図る。

<対象>県内の小学生とその家族
 <実施>12月20日(日)
 28家族(71名)



鍛えよう！ほめよう！体験活動推進プロジェクト
■ウィンターアクティブ楽習塾【2回シリーズ】

異年齢集団によるスキー等の体験活動を通して、「生きる力」や「豊かな心」を育み、共に学び協働していく意識を高め、体力及びスキー技術の向上に努める。

<対象>県内の小学5、6年生
 <実施>① 1月17日(日)9名
 ② 2月21日(日)8名



学習活動の支援・学習機会の提供
■ふくおか体験活動出前隊

県内の県立青少年教育施設及び国立夜須高原青少年自然の家の職員が学校や地域に出向き、自然体験活動の機会が減った児童・生徒及び教職員、地域の方々を対象に体験活動の支援を直接行うことを通して、学校や地域での体験活動の充実及び活性化を図る。併せて、県内青少年教育施設の取り組みを広く地域に発信し、理解を深めるとともに、各施設の利用促進を図る。

<対象>県内の教育施設、市町村社会教育・生涯学習関係課及び管内の社会教育施設、社会教育関係団体、地域活動、社会貢献活動、ボランティア活動等に関係する団体
 <実施>4施設合計67校(団体) およそ5,000名

家庭教育支援
**■みんなで育もう！
 ふくおかの子ども育成支援フォーラム**

ふくおかの未来を担う子どもの育成を目指し、家庭教育・子育て支援者、学校教育関係者、社会教育関係職員等を対象に、家庭教育・子育て支援についての理解と啓発及び関係者のネットワークづくりを図る。

<対象>家庭教育・子育て支援者に関心のある団体・個人、家庭教育・子育て支援行政担当者、幼稚園・保育園(所)・学校関係者、その他
 <実施>12月12日(土)100名



家庭教育支援
■家庭教育相談「親・おや電話」・「メール相談」

保護者等を対象に家庭教育・子育て全般にわたる相談に応じる。

<対象>保護者等
 <実施>563件(電話433件、メール83件)

家庭教育支援
■HP「ふくおか子育てパーク」による情報の提供

インターネットを活用した家庭教育・子育て支援情報の収集・提供を行い、家庭教育・子育ての支援を図る。

<対象>家庭教育・子育て支援者・団体、保護者、行政機関等
 <実施>72,835件

③ 社会教育関係者等の養成

社会教育基礎研修

■社会教育・生涯学習関係職員等研修会 【WEB開催】

社会教育・生涯学習の振興を図るために、新任者及び学び直しの希望者を対象に、必要な基礎知識について研修する機会を提供する。

<対象> 社会教育・生涯学習関係職員等

<実施> 9月 3日(木)
～ 10日(木)735件



社会教育基礎研修

■市町村社会教育委員新任者研修会

市町村の社会教育振興を担う社会教育委員の資質向上のため、社会教育の課題や社会教育委員の役割等について理解を深める。

<対象> 社会教育委員初任者、
行政関係者等

<実施> 11月27日(金)103名



社会教育専門研修

■公民館事業活性化研修会

現代的な課題である持続可能な人づくり・地域づくりにおいて、公民館が担う役割を原点に立ち返って見直し、公民館事業の活性化を図るとともに、地域づくりへの寄与を目的とする。

<対象> 社会教育・生涯学習主管課行政職員、
公民館関係職員等

<実施> 9月18日(金)114名



現代的課題対応研修

■人生100年時代での社会教育が果たす役割 ～防災教育からはじめる地域の防災・減災のまちづくり～

現代的課題を解決しながら持続可能な社会づくりを目指すために、「社会教育」を基盤とした、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」が求められており、社会教育の果たすべき役割について学ぶ。

<対象> 社会教育・生涯学習行政関係職員、防災担当職員、
公民館関係職員等

<実施> 10月 8日(木)130名



現代的課題対応研修

■学校とともにある地域づくり・人づくり 推進セミナーWEB開催

地域全体で子どもたちの成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動及びコミュニティ・スクールを一体的に推進するため、関係者の理解促進と地域学校協働活動推進員等へ、それぞれのニーズに応じた情報を提供し、今後の取組の充実につなげる。

<対象> 地域学校協働活動推進員、社会教育関係者、学校関係者、社会教育主事有資格者等

<実施> 11月17日(火)
～ 24日(火) 978件



成人等の学習・交流・ボランティア等支援

■センター学習ボランティア「若杉の会」の支援

「若杉の会」の活動を支援することにより会員の研鑽と会の充実を図る。

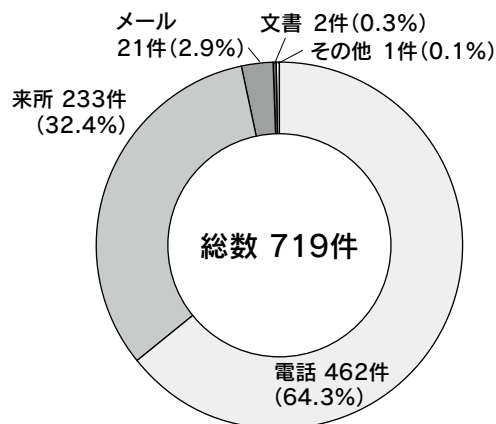
<対象> 若杉の会会員

<実施> 4件(延べ11名)

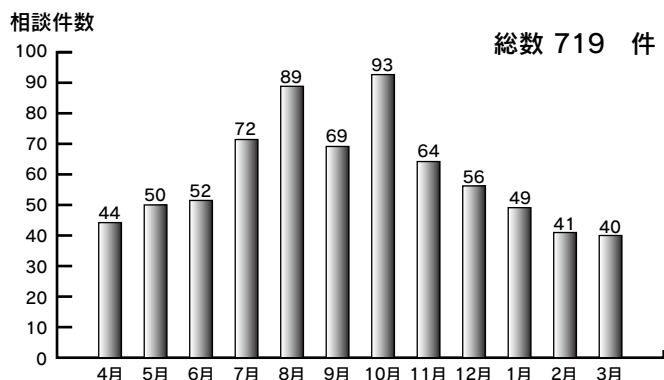


2 学習相談状況

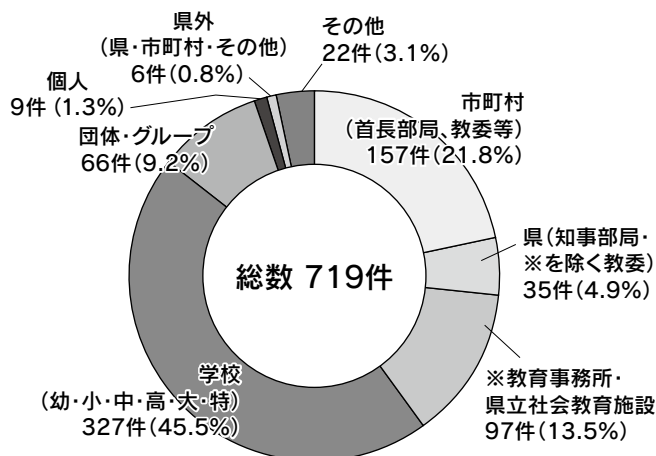
■相談方法別内訳



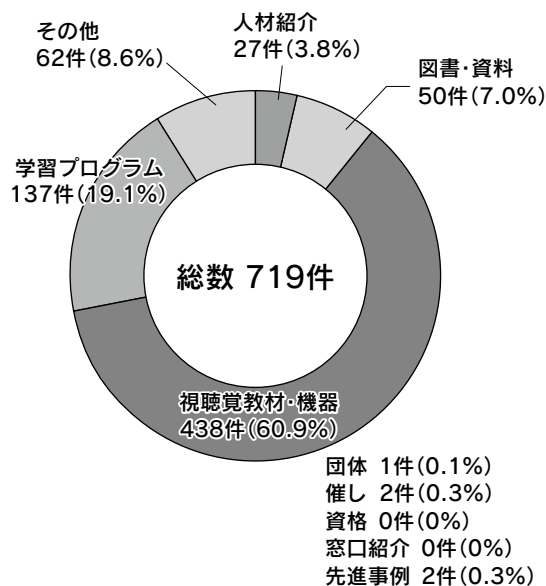
■月別相談件数



■相談者別内訳



■相談分野別内訳



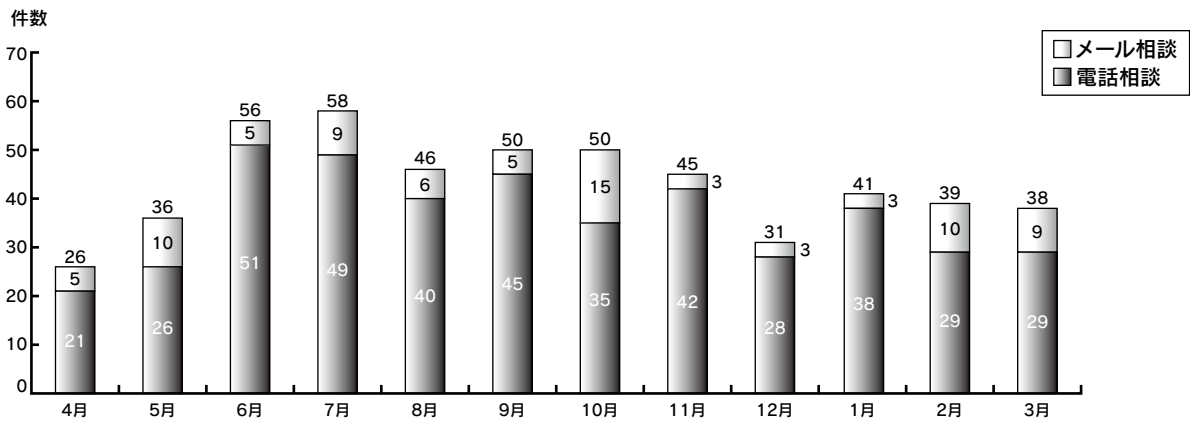
■相談者別の相談分野

(単位：件)

相談者	相談分野	相談分野										総計
		団体	人材	催し	図書資料	視聴覚教材	資格	窓口紹介	先進事例	学習プログラム	その他	
市町村 (首長部局・教委等)		0	6	0	2	101	0	0	1	10	37	157
県 (知事部局・教育事務所及び県立社会教育施設を除く教委)		0	1	0	2	17	0	0	0	12	3	35
教育事務所・県立社会教育施設		0	9	0	44	24	0	0	0	4	16	97
学校 (幼・小・中・高・大・特)		1	6	1	1	247	0	0	0	69	2	327
団体・グループ		0	3	0	0	42	0	0	0	19	2	66
個人		0	0	0	1	6	0	0	0	0	2	9
県外		0	2	1	0	1	0	0	1	1	0	6
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	22
年度累計		1	27	2	50	438	0	0	2	137	62	719

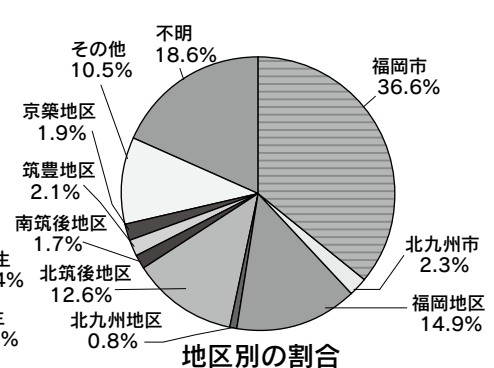
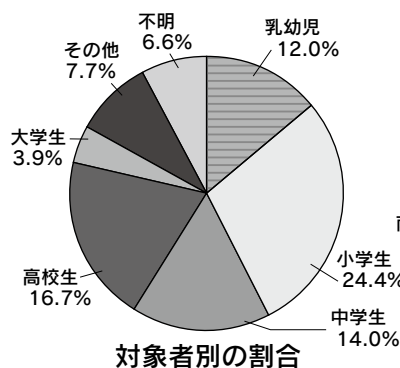
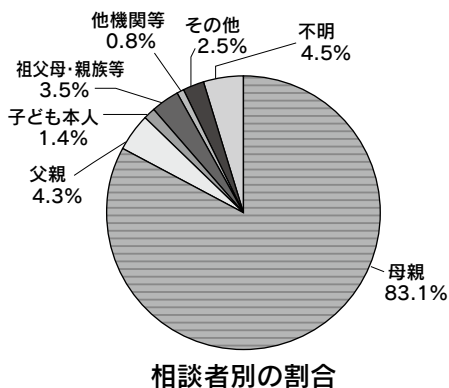
3 家庭教育相談「親・おや電話」(メール相談も含む)状況

① 月別相談件数



② 相談者・対象者・地区別相談件数

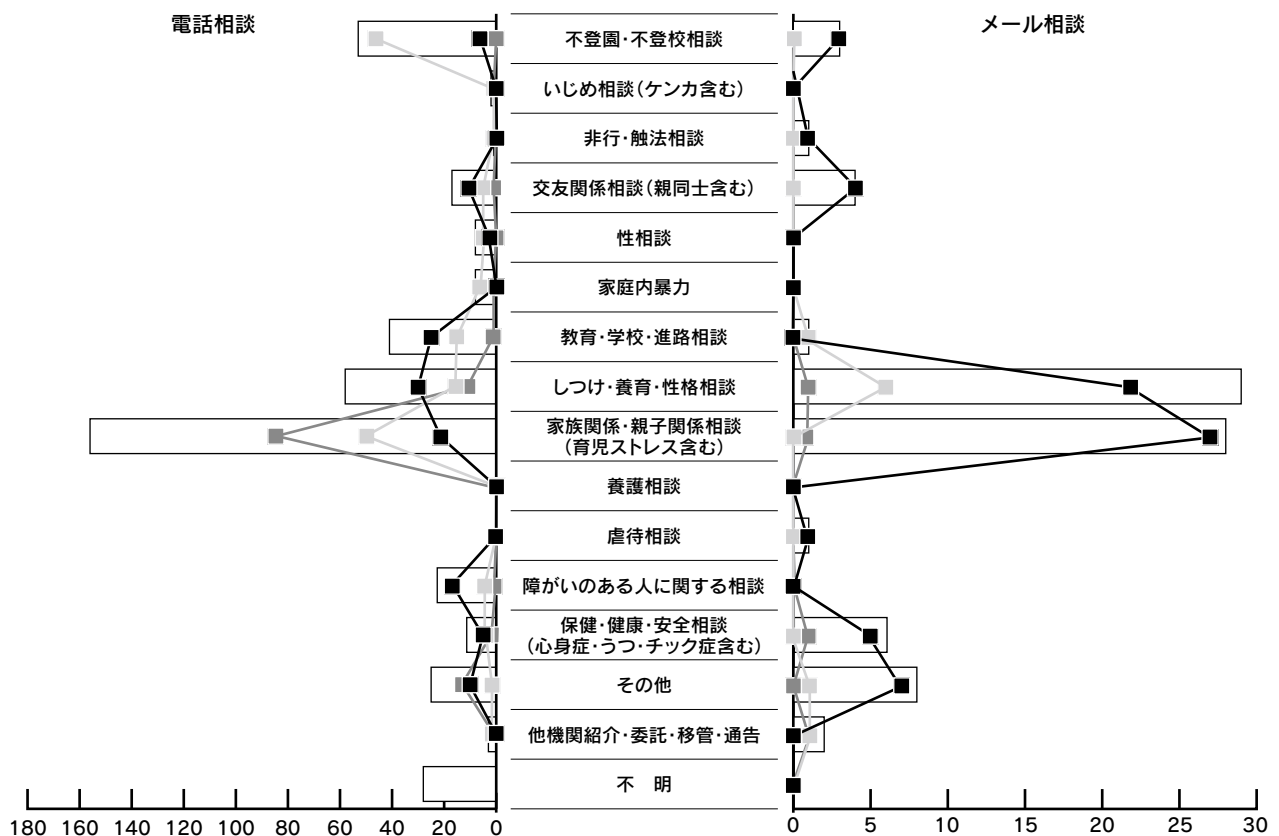
相談者・対象者・地区別相談件数		電話相談	メール相談	合計	割合(%)
相談件数		433	83	516	100.0
相談者	母親	351	78	429	83.1
	父親	20	2	22	4.3
	子ども本人	7	0	7	1.4
	祖父母・親族等	18	0	18	3.5
	他機関等	2	2	4	0.8
	その他	13	0	13	2.5
	不明	22	1	23	4.5
小計		433	83	516	100.0
対象者	乳幼児	25	37	62	12.0
	小学生	103	23	126	24.4
	中学生	71	1	72	14.0
	高校生	84	2	86	16.7
	大学生	20	0	20	3.9
	その他	105	11	116	22.7
	不明	25	9	34	6.6
小計		433	83	516	100.0
地区	福岡市	176	13	189	36.6
	北九州市	10	2	12	2.3
	福岡地区	70	7	77	14.9
	北九州地区	4	0	4	0.8
	北筑後地区	59	6	65	12.6
	南筑後地区	9	0	9	1.7
	筑豊地区	9	2	11	2.1
	京築地区	4	6	10	1.9
	その他	44	10	54	10.5
	不明	48	37	85	16.6
	小計		433	83	516



③ 内容別相談件数

相談内容	電話相談					メール相談				
	幼・小	中・高	大学他	合計	割合(%)	幼・小	中・高	大学他	合計	割合(%)
不登園・不登校相談	6	47	0	53	12.2	3	0	0	3	3.6
いじめ相談(ケンカ含む)	0	1	1	2	0.5	0	0	0	0	0.0
非行・触法相談	0	1	0	1	0.2	1	0	0	1	1.2
交友関係相談(親同士含む)	11	5	1	17	3.9	4	0	0	4	4.8
性相談	3	5	0	8	1.8	0	0	0	0	0.0
家庭内暴力	0	7	1	8	1.8	0	0	0	0	0.0
教育・学校・進路相談	25	15	1	41	9.5	0	1	0	1	1.2
しつけ・養育・性格相談	30	16	12	58	13.4	22	6	1	29	34.9
家族関係・親子関係相談 (育児ストレス含む)	22	50	84	156	36.0	27	0	1	28	33.7
養護相談	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0
虐待相談	0	0	0	0	0.0	1	0	0	1	1.2
障がいのある人に関する相談	17	4	1	22	5.1	0	0	0	0	0.0
保健・健康・安全相談(心身 症・うつ・チック症含む)	5	4	2	11	2.5	5	0	1	6	7.2
その他	10	2	13	25	5.8	7	1	0	8	9.6
他機関紹介・委託・移管・通告	0	2	1	3	0.7	0	1	1	2	2.4
不明				28	6.5	0	0	0	0	0.0
小計	129	159	117	433		70	9	4	83	
対象者・内容不明				0	0.0				0	0.0
合計				433	100.0				83	100.0

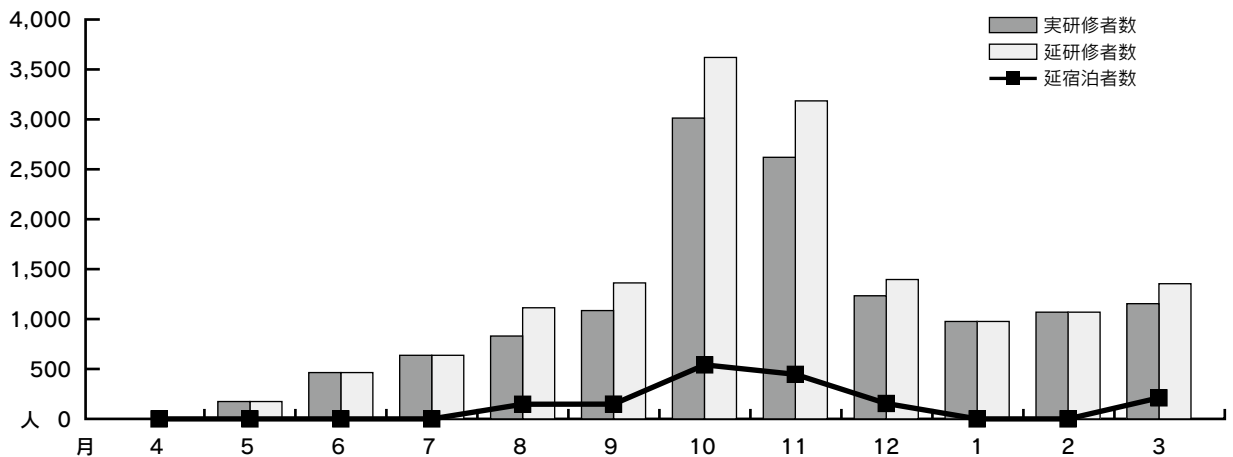
合計
 幼・小
 中・高
 大学他 (対象者)



4 施設の利用状況

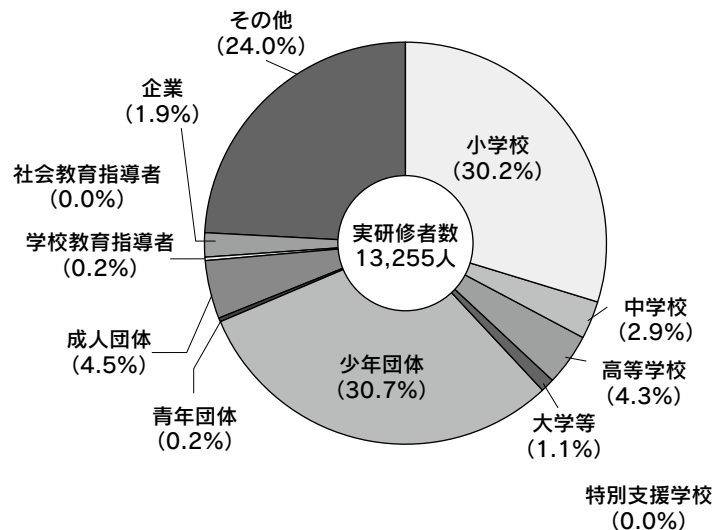
① 月別利用状況

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実研修者数 A	元	5,058	5,159	3,252	3,893	5,212	3,660	3,818	5,678	2,460	1,125	1,455	28	40,798	
	2	0	174	464	637	830	1,085	3,013	2,620	1,233	976	1,069	1,154	13,255	
延研修者数 B	元	12,824	11,394	6,645	7,611	10,418	8,064	6,788	17,158	4,170	1,923	2,295	100	89,390	
	2	0	174	464	637	1,113	1,362	3,620	3,185	1,396	976	1,069	1,354	15,350	
延宿泊者数 C	元	7,820	6,163	3,354	3,364	4,658	4,385	2,713	3,418	1,486	486	765	0	38,612	
	2	0	0	0	0	140	133	543	453	160	0	0	219	1,648	
団体数 D	元	107	80	102	125	127	102	86	85	63	45	54	3	979	
	2	0	11	24	40	57	50	80	57	38	27	34	49	467	
開所日数 E	元	29	30	28	30	30	28	29	28	26	26	27	1	312	
	2	0	12	28	30	30	27	29	28	26	26	26	29	291	
宿泊可能日数 F	元	28	28	26	29	29	26	28	26	24	25	25	0	294	
	2	0	0	0	29	29	24	27	26	24	25	24	27	235	
一日平均	研修者数 B/E → G	元	442.2	379.8	237.3	253.7	347.3	288.0	234.1	612.8	160.4	74.0	85.0	100.0	286.5
		2		14.5	16.6	21.2	37.1	50.4	124.8	113.8	53.7	37.5	41.1	46.7	52.7
	利用率 G/316	元	139.9	120.2	75.1	80.3	109.9	91.1	74.1	193.9	50.8	23.4	26.9	31.6	90.7
		2		4.6	5.2	6.7	11.7	16.0	39.5	36.0	17.0	11.9	13.0	14.8	16.7
	宿泊人数 C/F → H	元	279.3	220.1	129.0	116.0	160.6	168.7	96.9	131.5	61.9	19.4	30.6		131.3
		2				0.0	4.8	5.5	20.1	17.4	6.7	0.0	0.0	0.0	7.0
	宿泊率 H/316	元	88.4	69.7	40.8	36.7	50.8	53.4	30.7	41.6	19.6	6.2	9.7		41.6
		2				0.0	1.5	1.8	6.4	5.5	2.1	0.0	0.0	0.0	2.2

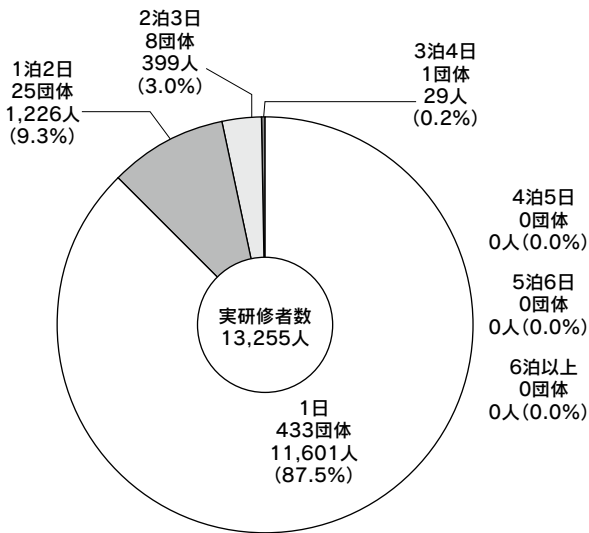


② 団体種別

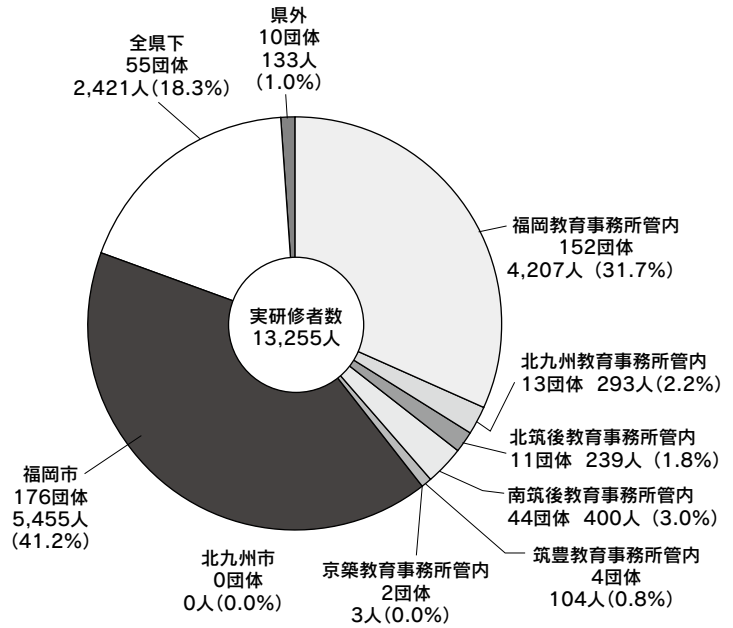
区分	合計		割合	
	団体数	研修者数		
学校利用	小学校	80	4,007	30.2%
	中学校	13	378	2.9%
	高等学校	15	564	4.3%
	特別支援学校	0	0	0.0%
	大学・短大・高専・専修・各種学校	11	143	1.1%
小計	119	5,092	38.5%	
少年団体	128	4,064	30.7%	
青年団体	2	27	0.2%	
成人団体	86	597	4.5%	
学校教育指導者	1	33	0.2%	
社会教育指導者	0	0	0.0%	
企業	19	257	1.9%	
その他	112	3,185	24.0%	
合計	467	13,255	100.0%	



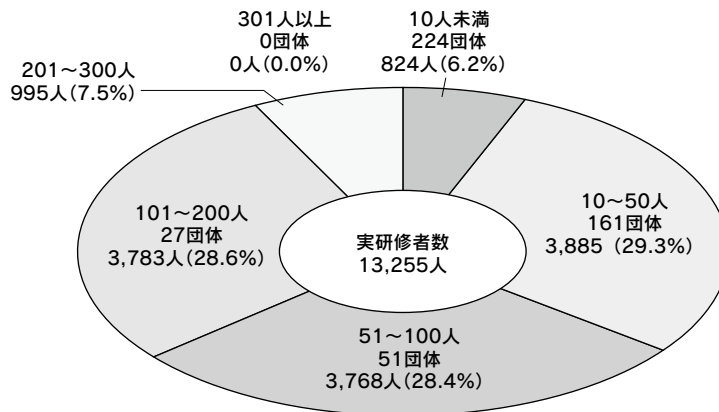
③ 一日研修・宿泊研修



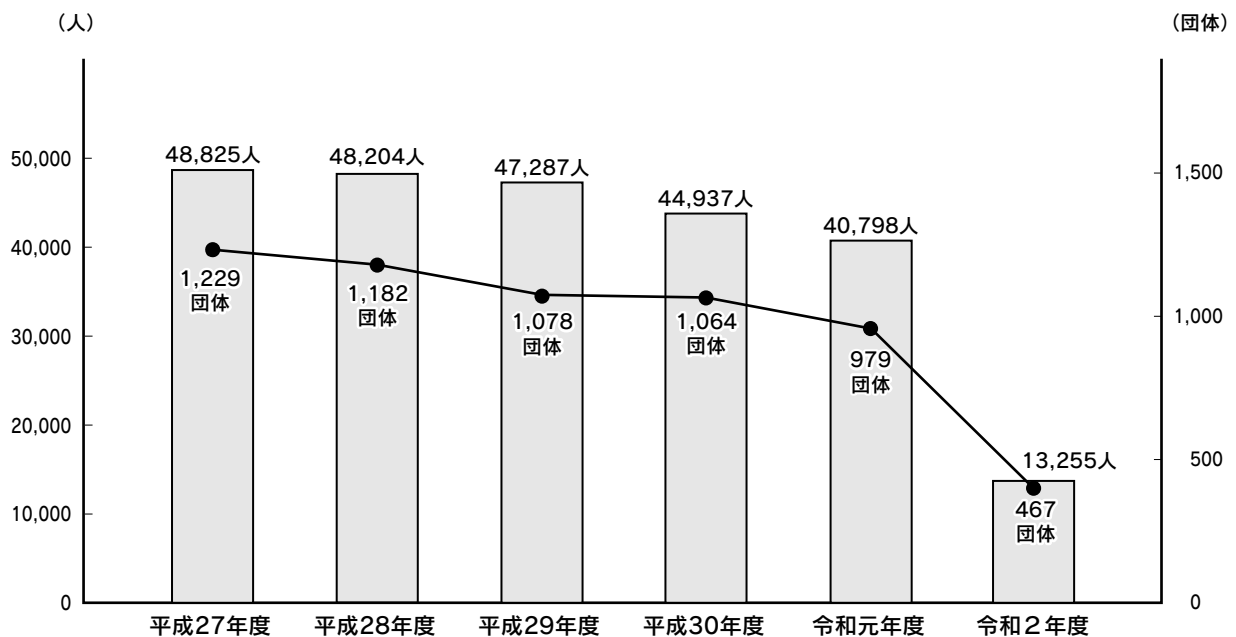
④ 地域別



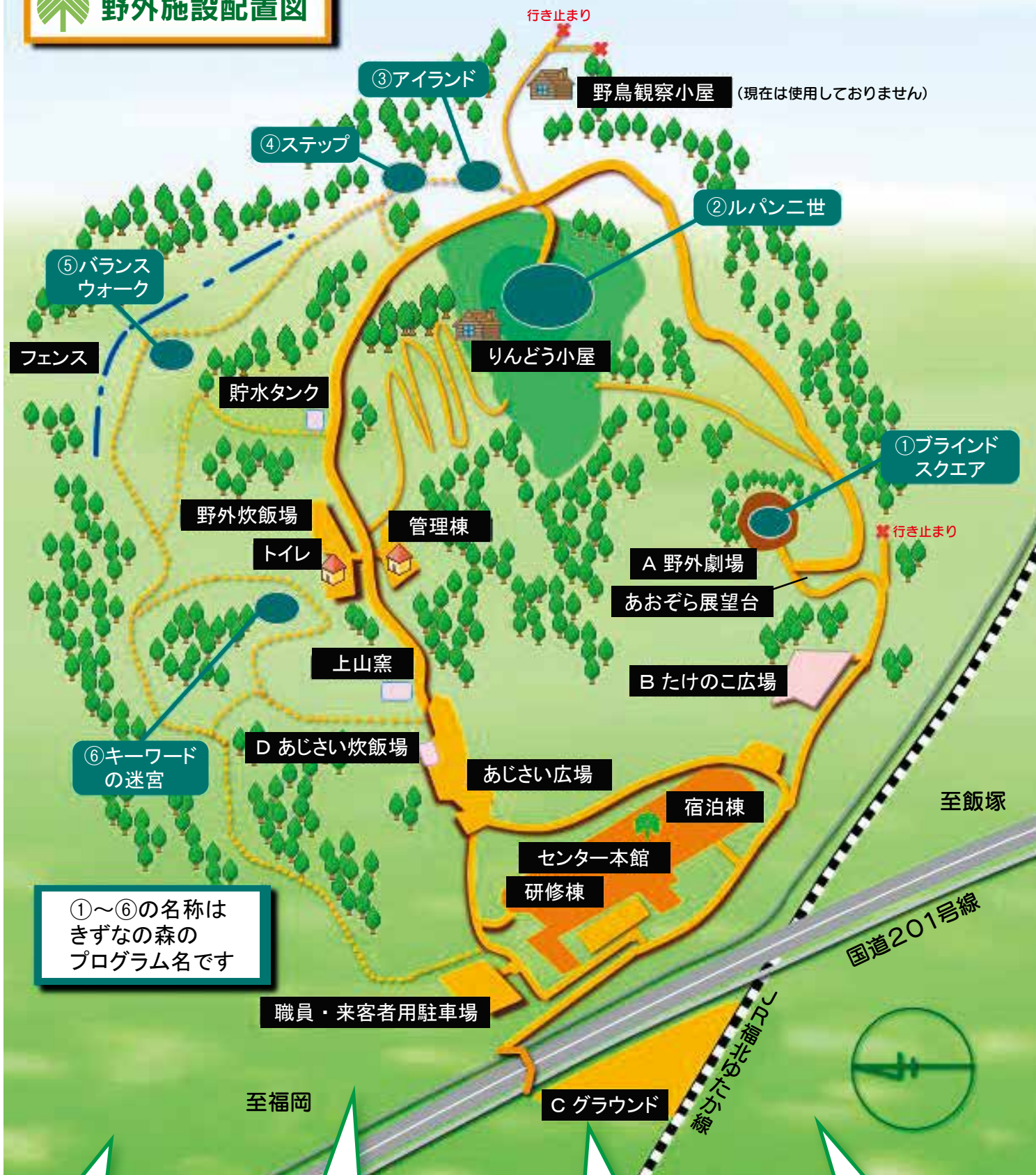
⑤ 団体規模別



⑥ 年度別利用者及び利用団体数



野外施設配置図



A 野外劇場



B たけのこ広場



C グラウンド



D あじさい(広場・炊飯場)

●周辺地図・交通案内



社教センターのマスコット
“ふくたろう”



※篠栗駅から徒歩でお越しの方は地図上のオレンジの矢印(→)に沿ってお進みください。
※略図のため、駅・バス停の位置関係と距離は比例していません。

■自動車でお越しの方は

九州自動車道・福岡 IC より 10 分

■電車でお越しの方は

JR 篠栗駅より徒歩 20 分、タクシーで 5 分

■バスでお越しの方は

西鉄バス31番又は310番「篠栗上町・須賀神社前」より徒歩 10 分

「日の浦口」より徒歩 5 分

都市高速(呉服町ランプ)経由「篠栗北」より徒歩 20 分

福岡県立社会教育総合センター

検索

〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2

TEL 092-947-3511 FAX 092-947-8029

E-mail shakyoc@pref.fukuoka.lg.jp

URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/center/index.html>

●家庭教育相談「親・おや電話」 TEL 092-947-3515

●視聴覚ライブラリー TEL 092-947-3514

●ふくおか社会教育ネットワーク

<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>

社会教育に関する最新情報の提供と
社会教育関連機関の紹介をするサイトです。



●ふくおか子育てパーク

<http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/>

子育てを学ぼう! 毎日の子育てが楽しくなる
子育て情報満載ホームページ

